

高速・高気密シャッター誕生

医療現場需要も期待

気密性が高く、素早く開閉できるシートシャッターを小松電機産業（松江市乃木福富町）が開発し、6月から販売する。工場などで省エネ効果が期待できるほか、

医薬品工場や介護施設などでの需要も視野に入れている。

同社は1985年に初めてシートシャッター「門番」を販売した。自動車や電機関連の工場を中



新しいシートシャッターは、シートを持ち上げればはずして脱出できるなど安全性も高めたという。松江市乃木福富町

松江の会社、来月から販売

心に12万台を売り上げて、同社の看板商品のひとつとなった。

今回販売するのは、門番の「Gシリーズ」。秒速3分で開閉でき、ジッパー構造を導入して従来品よりも気密性を高めた。工場の間仕切りなどに利用すれば、冷暖房効率上がり、省エネ効果も期待できるとしている。3桁四方で1台90万円。

すでに、ほこり対策が必要な食品やIT関連、医薬品などの工場などからも問い合わせがある。黄砂対策が必要な中国などでも需要が見込めるという。

小松昭夫社長は「韓国で生産し、中国などにも展開していきたい。ライバル会社にノウハウを提供し、共に発展できる21世紀の共生型ビジネスモデルをつくってきたい」と話している。

（藤井満）